

玄海地区漁場環境情報提供事業

松本 日向乃・豊福 大樹・梅田 智樹

沿岸漁場および養殖漁場の漁場環境データの継続的な収集・提供とともに、沿岸漁場で漁獲される資源管理対象魚種等についての生物情報の収集・分析により、資源管理方針、資源管理協定および漁場改善計画の見直し・策定の資料とする。

1. 海況テレメータシステムによる水温塩分等モニタリング及びリアルタイム情報提供

定点ごとの観測期間を表1に示す。4月1日より玄海沿岸域の唐津湾幸多里地先（以下「幸多里」）、名護屋浦名護屋地先（以下「名護屋浦」）、仮屋湾仮屋地先（以下「仮屋」）および伊万里湾波多津地先（以下「波多津」）の4定点（図1）において、自動観測装置による表層の水温、塩分、クロロフィルの定時観測（30分間隔）を行い、また、波多津においては、中層の水温、塩分、クロロフィル、有害プランクトン、底層の水温、塩分、D0の定時観測（30分間隔）を行った。10月1日からは伊万里湾阿漕地先（以下「阿漕」）を加えた計5定点（図1）において、表層の水温、塩分、クロロフィル、中層の水温、塩分、クロロフィル、有害プランクトンの定時観測（30分間隔）を行い、幸多里を除く4定点において底層の水温、塩分、D0の定時観測（30分間隔）を行った。観測データは、図2に示す海況テレメータシステムにより、リアルタイムで漁業者へ提供した（図3）。

自動観測装置により観測した観測期間中の表層水温の範囲は、幸多里で10.7～30.7℃、名護屋浦で12.5～27.0℃、仮屋で10.3～28.8℃、阿漕で10.0～27.2℃、波多津で9.1～32.4℃であった。

2. 自動観測装置設置定点における定期観測

幸多里、名護屋浦、仮屋、波多津の自動観測装置を設置した地点および外津浦において、毎月月上旬に漁場環境調査を行った。観測項目及び観測層については、次のとおりである。

- i) 観測項目：水深・透明度・水温・塩分・pH・D0
- ii) 観測層：0m・(2.5m・5m・10m)・B-1m

調査結果については「玄海漁場環境情報」として、毎月、漁業者等へ情報提供を行った（図4）。

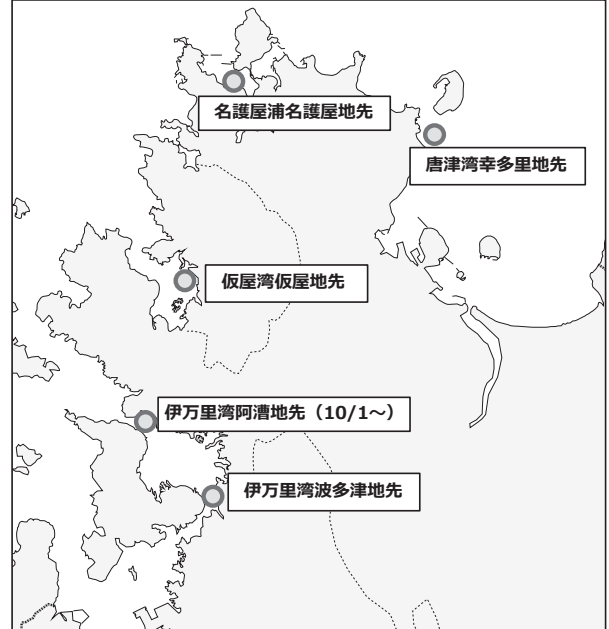


図1 自動観測装置の設置場所

表1 自動観測装置による観測期間

定点名	観測期間	備考(欠測期間)
唐津湾	4/1～3/31	8/2～8/16(台風避難)、 9/11～9/20(メンテナンス、機器増設) 11/20～2/14(メンテナンス)
名護屋浦	4/1～3/31	7/1～9/20(メンテナンス、機器増設) 12/6～2/8(メンテナンス)
仮屋湾	4/1～3/31	7/20～9/13(メンテナンス、機器増設)
伊万里湾(阿漕)	10/1～3/31	
伊万里湾(波多津)	4/1～3/31	8/2～8/15台風避難)

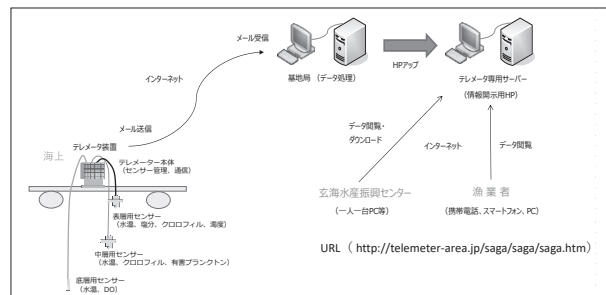


図2 海況テレメータシステムの概要図

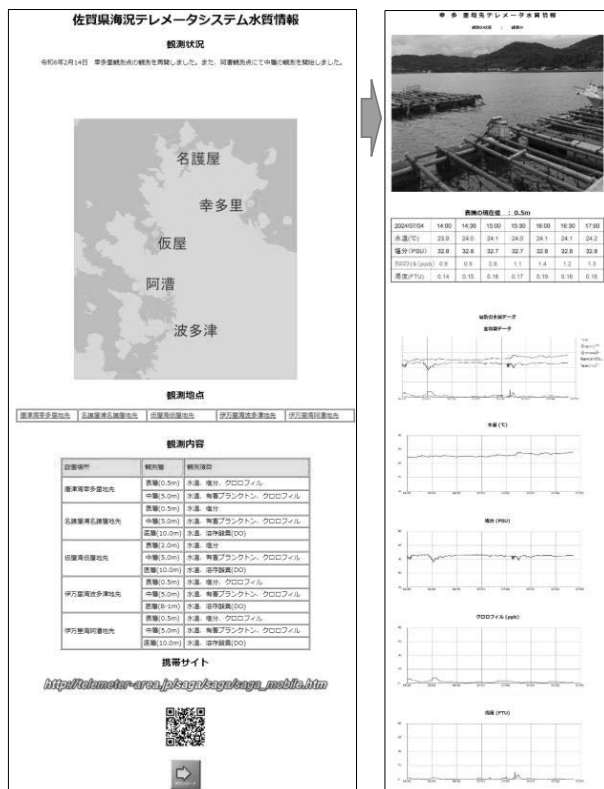


図3 情報提供用ホームページ画面

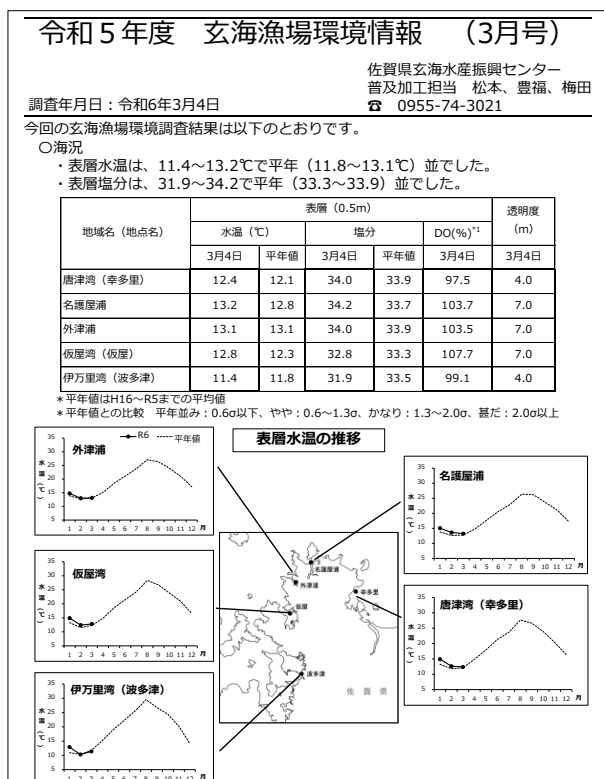


図4 玄海漁場環境情報